

2019年7月5日

## 情報提供冊子をリニューアル ～「ippo-ippo」と「QUPi0」を統合～

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、冊子による情報提供サービス「ippo-ippo」と「QUPi0」を統合し、2019年7月より「QUPi0 Plus（クピオプラス）」として新たにサービス提供を開始します。

### 1. 背景

厚生労働省は、第3期医療費適正化計画（2018～2023年）<sup>\*1</sup>において、保険者機能の発揮を幅広く総合的に評価する観点から、特定健診・保健指導の実施率に加えて、個々人の健診結果について分かりやすく情報提供することや医療機関へ受診が必要な者に受診勧奨を行うことを後期高齢者支援金<sup>\*2</sup>の減算（インセンティブ）指標に位置づけました。

こうした背景の下、SOMPOヘルスサポートは、より個別性の高い情報提供サービスの提供によるヘルスリテラシーの向上を目的とし、「ippo-ippo」の強みである保健指導の知見と「QUPi0」の強みである興味・関心を引くコンテンツの知見を、それぞれ活かし「QUPi0 Plus（クピオプラス）」として新たにサービス提供を開始することとしました。

\*1 行政、保険者、医療関係者が連携した予防・健康づくり、医療費適正化の推進を目的とした計画

\*2 75歳以上の高齢者が加入する医療保険制度に対し、現役世代が加入する保険者（健康保険組合、共済組合、協会けんぽ等）が支援する制度。患者負担を除く医療給付費の約4割がこれにより賄われています。

### 2. 新たなサービスの概要

加入者個々人の健診結果に応じて健康情報を分かりやすく提供するサービスです。「QUPi0 Plus（クピオプラス）」でより強化したサービスの主な特徴は以下の通りです（冊子のイメージは<別紙>をご参照ください）。

#### ■ 個別性の強化

- ・ 個人の状態に応じた総評コメントの掲載
- ・ 個人の性別・年代・健診結果に応じたコンテンツの掲載
- ・ 各健診項目ごとの分析ページでそれぞれの健康状態を確認可能

#### ■ 気付きを促すコンテンツの拡充

- ・ 5年後の生活習慣病発症リスクを確認可能
- ・ 5回分の健診結果のモニタリングが可能
- ・ 健診ランキングで相対評価を実施

### 3. 提供開始時期

2019年7月中旬（予定）

#### 4. 今後の展開

SOMPOヘルスサポートは、これまでに培った知見やノウハウと AI・ICT 技術を活用することで中核となる保健指導事業の高度化と拡大を進めます。また、保健指導によるハイリスクアプローチ事業に加え、健康情報提供によるポピュレーションアプローチ事業の展開を拡大しています。

以上

<別紙>

新たに提供する情報提供冊子のイメージは以下の通りとなります。

【表紙】

<受取人>  
〒101-0063  
東京都千代田区神田海越町1-2-3  
血压 高男 様  
7631010190APL 3116500000  
42986  
034-10142776

**親展** 『QUPiO Plus』は  
生活習慣改善の  
ヒントが詰まった  
あなた専用の  
健康冊子です

12021627000000000000

**QUPiO+**  
クピオプラス

**血压 高男さん**  
あなたの**健診結果は!?**

過去200万人以上の健診データをもとに  
健診結果を詳細に分析!

健康をキープ!

発行元：QUPiO健康保険組合

【性別・年代・健診結果に応じたコンテンツ】

**血压 高男さんの**  
健診結果を総合的に分析した結果、  
もっともお伝えたいのは**高血圧症**についてです。

知っておこう **高血圧症**

**1日に10万回の圧力が心臓に!?**  
血压とは、血管が受けている圧力です。最高血圧が140mmHgの場合、細い血管は血液を約2m飛ばすほどの強い圧力を受けています。成人の心臓は1日あたり約10万回収縮しているため、その度に血管や心臓は強い圧力を受けることとなります。もともと血圧が高いほど、受ける圧力は速くなります!

**気がつかないうちに忍び寄る病魔**  
こうした日々の積み重ねが血管や心臓にダメージを与えます。高血圧症はサイレントキラーとも呼ばれ、症状もなくあなたに忍び寄り、重大な病(心筋梗塞、脳卒中など)を引き起こす危険性を高めます。

知っていますか? **約10倍のリスク**

血压が正常な方と高血圧の方で脳血管形態知症<sup>(\*)</sup>にかかるリスクを比較すると、高血圧の方は最大で約10倍も高いことが報告されています。  
(\*)脳血管形態知症とは、脳血管が膨らんだり、縮んだりするなどの状態をいいます。ダメージを受けた脳の部位によって症状はさまざまですが、認知力や、日常生活の行動能力などに大きな影響をもたらす可能性があります。

人は「今」を重要視しがち…でも、このままでいいの?  
『今は忙しいし、このままでいいか…』 『今から、からだのことを考えてみよう!』

正常な血圧の人と比較すると  
発生するリスクは  
**最大10倍**

発生するリスクは  
**10分の1**

あなたならどちらを選ぶ??

【5年後の生活習慣病発症リスク】

**■ 血压 高男さんの健診結果からわかること…**

『QUPiO Plus』独自の計算式を使って生活習慣病(高血圧症・脂質異常症・糖尿病)を発症するリスクを算出しました。あなたと同じ「年代・性別・健診結果」の人が5年後に生活習慣病を発症する割合と同年代との比較は、以下の通りです。まずは確認してみましょう。

**高血圧症**

5年後の発症リスク **受診をおすすめします**

50代の男性の中で  
今回 **67**名中100名 (割合 **73**名)

50代の男性の中で  
今回 **64**名中100名 (割合 **75**名)

脂質異常症

5年後の発症リスク **70~80%**

50~54歳・男性と比較すると

50代の男性の中で  
今回 **98**名中100名 (割合 **99**名)

50代の男性の中で  
今回 **99**名中100名 (割合 **99**名)

結果はいかがでしたか。今後の過ごし方によって、あなたの未来は良い方向にも悪い方向にも変わります。次のページで「今」からの状態を確認してみましょう。

【健診ランキング】

**■ 健診結果を項目別に分析しました!**

**肥満**

生活習慣を含めた自己管理が大切です。

BMI

50代の男性の中で  
今回 **67**名中100名 (割合 **73**名)

50代の男性の中で  
今回 **64**名中100名 (割合 **75**名)

BMIや腹囲の数値は、「内臓脂肪の蓄積」を見る目安になります。内臓脂肪の蓄積は、すべての検査項目に影響を及ぼし、血管の老化(動脈硬化)を加速させます。その結果、高血圧症・脂質異常症・糖尿病などを発症する可能性があります。

**血压**

受診をおすすめします。<sup>\*</sup>  
<sup>\*</sup>受診の際「治療はせず経過観察でよい」と言われる場合も、受診が、健康の維持にも生活習慣も良くなりましょう。

最高血圧

50代の男性の中で  
今回 **98**名中100名 (割合 **99**名)

50代の男性の中で  
今回 **99**名中100名 (割合 **99**名)

高血圧の状態が続くと…  
血管に常に負荷がかかり、動脈硬化が進みます。その結果、心筋梗塞や脳卒中<sup>(\*)</sup>が起こりやすくなるだけでなく、腎へのダメージも懸念されます。<sup>(\*)</sup>脳卒中・脳血管性認知症とも、関係が深いと考えられています。